



すべての市民が心豊かに暮らせるよう、生涯にわたって学び、文化的な活動が活発に行える環境の整備を進めます。

また、次代を担う子どもたち一人ひとりの個性を生かしながら創造力が培われる環境を構築し、創造性と人間性に富んだ人材を育成するとともに、地域の風土や文化の保護・継承・創造に努め、すべての市民が参加できる「生涯学び創造性を育む教育と文化のまちづくり」を推進します。

基本目標

政策

施策

生涯学び創造性を育む
教育と文化のまちづくり

一人ひとりの生きがいづくり
を培う生涯学習の推進

- 生涯学習の推進
- 青少年の健全育成

創造性と人間性を育む
教育の推進

- 子育て支援・幼児教育の推進
- 学校教育の充実

さわやかな笑顔を育む
文化・スポーツの推進

- スポーツ・レクリエーションの振興
- 芸術文化活動の振興

第1節 一人ひとりの生きがいを培う生涯学習の推進



1 生涯学習の推進

現状と課題

高齢化社会を迎えると同時に自由時間が増加する中で、心の豊かさや生きがいを求め、市民の自主的・創造的な学習意欲が高まりを見せています。また、人生のあらゆる時期にさまざまな場所で学習したいという市民の学習ニーズも多様化し、生涯学び続けていくことが大切となってきています。

このため、市民一人ひとりが生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも自由に学習することができるよう、生涯学習を総合的・計画的に推進するための生涯学習計画の策定が必要となっています。これらの市民の学ぶ機会から仲間づくりが生まれ、自主的な活動へと継続・発展していけるような仕組みづくりも必要となっています。

本市では、天王・昭和・飯田川の3公民館を中心に、分館や集会所等の教育施設を活用した地域における学習活動の場を提供しています。今後は、地域における学習の場であるとともに、地域に密着した学びあいの場として各種事業を展開していく必要があります。

図書館事業については、潟上市図書館を中心に、昭和学習館（図書館昭和分館）や飯田川公民館図書室、勤労青少年ホーム図書室において、市民の学習意欲に高揚するための図書館資料の充実や本に親しむための各種事業の実施、インターネットを活用した蔵書検索など利用しやすい環境を整えています。平成16年度の貸出冊数は45,612冊となっており、今後も引き続き図書館資料の充実に努めるとともに、さまざまな利用者に対応できるサービスの拡充や移動図書館等への取り組みが課題となっています。

勤労青少年ホームは、勤労青少年が余暇活動を有効にかつ健康的に過ごせるために設置され、勤労青少年のニーズに対応した教室やサークル活動の場として利用促進を図っています。

アンケート調査では、市の施設の中で「公民館・分館」の利用頻度が最も高くなっており、今後は、多様な生涯学習を市民が主体的・日常的に展開できるよう、公民館等の身近な学習拠点施設の整備や市民の学習ニーズに対応した各種教室の開催、生涯学習に関する情報提供などを進め、市民が学んだことや身につけた能力を地域に活かしていけるような支援体制が必要となっています。

参考データ

生涯学習施設の利用状況

単位：人、冊

| | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天王公民館 | 38,975 | 39,831 | 41,026 | 39,073 | 43,414 |
| 昭和公民館 | 24,396 | 26,665 | 26,170 | 27,300 | 24,685 |
| 飯田川公民館 | 11,509 | 12,137 | 11,333 | 12,477 | 11,502 |
| 潟上市図書館 (貸出冊数) | 30,041 | 41,924 | 41,356 | 46,470 | 45,612 |
| 勤労青少年ホーム | 14,174 | 15,744 | 16,107 | 17,130 | 15,987 |

資料：生涯学習課

施設の利用頻度

新市建設計画アンケート（15年9月実施）結果から

| 順位 | 施設 | (%) | 順位 | 施設 | (%) |
|----|-------------|------|-----|-----------|------|
| 1位 | 公民館・分館 | 42.6 | 6位 | 幼稚園・保育園 | 23.3 |
| 2位 | 公園・広場 | 34.0 | 7位 | 児童館・地区児童館 | 23.2 |
| 3位 | 体育館・武道館 | 30.8 | 8位 | 保健センター | 21.7 |
| 4位 | 図書館(室) | 27.4 | 9位 | その他集会施設等 | 20.9 |
| 5位 | 野球場・多目的運動広場 | 23.5 | 10位 | グラウンドゴルフ場 | 19.4 |

これからの取り組み

生涯学習活動の推進

生涯学習計画を策定し、市民の生涯にわたる学習を支援するため、多種多様な取り組みを進めます。

市民の自主運営による生涯学習活動やコミュニティ活動が、日常的に展開できるよう支援します。

公民館事業の充実

市民の学習ニーズに対応した各種教室を開催するとともに、幅広く市民が受講できるよう各地区の公民館が連携し学習機会の充実を図ります。

地域コミュニティの活性化を図るため、社会教育団体の育成に努めるとともに、地域の生涯学習拠点として、日常活動を支援します。

図書館事業の充実

市民ニーズに対応できるよう、図書資料の収集やレファレンスサービスの充実を図ります。

潟上市図書館を中央図書館と位置づけ、ネットワーク化を充実させるとともに、移動図書館（ブックモバイル）の導入を検討します。

市民の読書活動を推進するため、読書紹介等の各種事業を実施するとともに、関係団体の育成に努めます。

勤労青少年ホーム事業の充実

勤労青少年のニーズに対応した各種教室を実施するとともに、利用しやすい施設とするため、利用者の自主的な運営を支援します。

生涯学習施設の整備・充実

市民が利用しやすい施設とするため、管理・運営方法等を検討するとともに、施設の計画的な整備・改修を行います。

広域的な生涯学習体系を確立するため、生涯学習パスの導入を検討します。

目 標

| 区 分 | 単位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|--------------------|----|-------|-------|-------|
| 生涯学習講座受講者数(天王公民館) | 人 | 5,859 | 5,900 | 6,000 |
| 生涯学習講座受講者数(昭和公民館) | 人 | 3,300 | 3,800 | 4,000 |
| 生涯学習講座受講者数(飯田川公民館) | 人 | 2,000 | 2,000 | 2,000 |

用語解説

レファレンスサービス：利用者から質問・相談を受けて、調査や研究に必要な本の紹介や本を探す手伝いをするサービス。



2 青少年の健全育成

現状と課題

都市化や核家族化の進展、就労形態の変化等により少子化が進み、子どもを取り巻く環境が大きく変化しています。子どもの遊びも集団的傾向から個人へと移行し、ゲーム等の家庭内での遊びが主流となってきています。

本市では、追分地区児童館を拠点に昭和及び飯田川地区の児童館と連携し、子ども一人ひとりの能力と個性を生かし、健康で心豊かに成長していくことができるように各種事業の推進を図っています。

また、日中に保護者のいない家庭の児童を育成指導するための放課後児童クラブは、国の子育て支援事業重要施策として位置づけられており、市内に5箇所が設置されています。今後は、関係機関との連携や指導員の研修など、さらに内容を充実させる必要があります。

子ども会については、地域における仲間活動や世代間交流を通して、子どもの心身の発達に必要な知識や生活技術等を身につけるものであり、地域子ども会が育成会とともに活動をしています。平成17年4月現在、116団体、3,055人で構成されていますが、学校週5日制が定着化し、団体活動を通じた仲間づくりや連帯感の高揚を図ることが重要となっています。しかし、少子化による子ども会そのもののあり方や統合、事業のマンネリ化等が課題となっています。

参考データ

放課後児童クラブの状況（平成17年11月現在）

| 区 分 | 児 童 数 |
|-----------|-----------|
| おいわけ児童クラブ | 39人 |
| でと児童クラブ | 21人 |
| てんのう児童クラブ | 41人 |
| とうこ児童クラブ | 13人 |
| 大久保児童クラブ | 23人 |
| 飯田川児童クラブ | H18,4発足予定 |

資料：生涯学習課

これからの取り組み

子ども会の充実

育成指導班（世話人会）の研修を通して児童の健全育成の活動の活性化と充実に努めます。
活動が優れている子ども会等に対しては、表彰を行うなど活動の奨励を図ります。
優れたリーダー育成や地域間交流を推進するため、リーダー講習会や子ども会行事等の交流事業の充実を図ります。

児童館活動の充実

生活の知恵と生活技術の習得などを楽しみながら行えるように、児童館主催事業を充実させるとともに、母親クラブ等の地域の教育団体の育成に努めます。

放課後児童クラブの育成・支援

地域の実情に即した放課後児童クラブの円滑な運営に努めるとともに、子ども達が安全で快適に過ごせることができるよう、施設の有効利用を図ります。
関係機関と連携し、情報交換を充実させるとともに、指導員の研修等を派遣するなど、放課後児童クラブの保育内容の充実を図ります。

奉仕活動、体験活動の推進

社会奉仕体験活動や自然体験活動などの体験を積み重ね、思いやりの心や豊かな人間性・社会性、自ら考え行動できる力を育むための環境整備に努めます。

健全育成支援体制の強化・充実

青少年育成市民会議を中心に関係機関や各種団体等と連携を深め、青少年の健全育成のための運動を強化します。
有害な図書やインターネットの有害サイトなど青少年を取り巻く社会環境の悪化についての調査・把握し適切な対策を講じるなど、環境浄化活動を積極的に推進します。
高校生の交流機会の創出やボランティアの育成等、中高生の健全育成を図ります。

目 標

| 区 分 | 単 位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|---------------|-----|------|------|------|
| 放課後児童クラブの設置箇所 | 箇所 | 5 | 7 | 7 |

第2節 創造性と人間性を育む教育の推進

1 子育て支援・幼児教育の推進

現状と課題

次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる地域社会の実現は、今後の本市が元気のあるまちづくりを推進していくためには必要不可欠なものとなっています。少子化の原因として、晩婚化が進んでいることや子育てと仕事の両立が難しくなっていること、経済的負担が重くなっていることなどが考えられます。急速な少子化の進行は、今後の社会経済に深刻な影響を与えることから、国・県においてもさまざまな施策を推進しています。

本市には、公立保育園が8ヶ所で定員700人、公立幼稚園が3ヶ所で定員560人、私立幼稚園が2ヶ所で定員480人となっています。保育園については、低年齢児へのニーズが多様化し、需要に応じて定員の見直しが必要となっています。また、休日保育や病気回復期の児童を一時的に預かる乳幼児健康支援一時預かり事業のニーズが増加していますが、実施するには財政負担や保育士の確保、施設整備などの問題を抱えています。一方、公立幼稚園では、家庭との連携を密にして無理のない集団生活の中で幼児期にふさわしい道徳性を生活の中で身につけさせるよう指導をしています。今後は自分達の手で愛情をこめて育てる喜びを広げていく必要があります。

本市では、昭和48年に飯田川地区において、県内でも先駆的であった幼保の一体的運営に取り組み、それぞれの長所を活かした幼児教育の推進に努めてきました。また、本市の行政組織では、幼保の窓口の一元化や将来的な幼保一体的運営を推進するため、教育委員会に幼児教育課を設置し、子育て支援、各種保育サービスの充実を図っています。今後は幼児教育課を中心に、幼保の一体的な運営や施設整備を計画的に実施していくことが必要です。

本市における出生数は、ここ数年ほぼ横ばいで推移しています。本市では、安心して子どもを産み育てられる環境を整備し、「子育て機能の再生」を実現するため、「子ども、家庭、地域がともに育む、子育て応援のまちづくり」を基本理念とした「次世代育成支援行動計画」を策定しました。今後は、この計画を着実に実現していくための取り組みが必要となっています。

アンケート調査では、「子育てがしやすい労働・職場環境の整備促進」が上位に挙げられるなど、子育てと仕事の両立を支援するための多様な保育ニーズへの対応や、保育施設の整備、子育て支援センターの設置など、特色のある子育て支援の充実が求められています。

参考データ

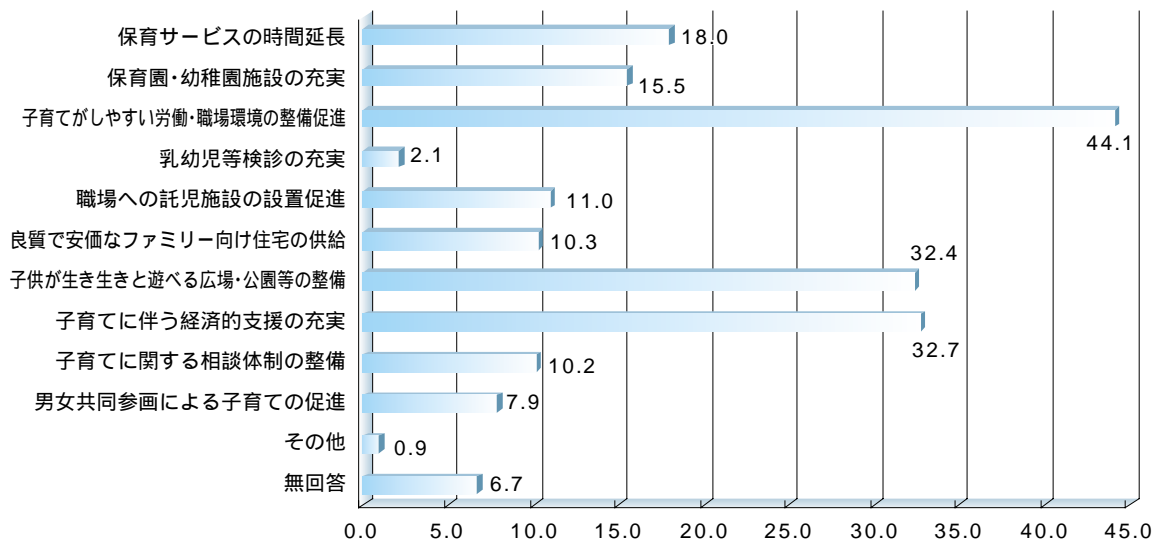
出生数の推移

単位：人

| | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総数 | 257 | 312 | 253 | 288 | 262 |
| 男 | 127 | 156 | 130 | 155 | 138 |
| 女 | 130 | 156 | 123 | 138 | 124 |

資料：市民課

子育て支援の中で今後、重点的に取り組むべき事項 新市建設計画アンケート(15年9月実施)結果から



これからの取り組み

子育て支援の充実

本市の子育て支援策の基本となる「次世代育成支援行動計画」に基づき、各種施策を推進します。子育ての相談・指導による育児不安の解消や地域での子育てに対する支援策の推進など地域全体で子育てを支援する拠点として「地域子育て支援センター」を設置します。保健師・栄養士等による子育て相談や交流イベント、子育てグループの育成など子育て支援を充実させます。

保育サービスの充実

地域に開かれた保育園を目指し、家庭や地域、学校等と交流を深めるとともに、各園の特徴を生かしながら保育内容の充実に努めます。多様化する保育ニーズに対応するため、乳児保育の拡充や一時保育、延長保育等の事業を積極的に推進し、柔軟に対応できる体制づくりに努めます。

幼児教育の推進

幼児の主体的な遊びを通して、生涯にわたる人間形成の基盤として生きる力の基礎を培う環境づくりに努めます。幼稚園を拠点に地域での子育ての場、各世代の交流の場となるような施策を推進します。未就園児に幼稚園を開放するなど地域との交流を積極的に推進します。幼児期から児童期への円滑な移行を図るため、幼稚園・保育園・小学校との相互連携を強化します。

保育・教育環境の整備と幼保一体的運営の推進

子どもたちが健やかに育つために、幼保一体教育を推進します。幼児が安全に園生活を過ごすことができるように、老朽化した施設を計画的に整備するとともに、建替え時に幼保一体的施設の整備を検討します。

目 標

| 区 分 | 単位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|----------------|----|------|------|------|
| 一時保育実施保育園数 | 園 | 2 | 4 | 4 |
| 地域子育て支援センター設置数 | 箇所 | 0 | 3 | 4 |



2 学校教育の充実

現状と課題

少子高齢化、情報化、国際化の進展や地球環境問題など、社会のさまざまな変化が児童生徒の教育環境にも影響を与えています。また、学校週5日制の実施などで学校教育を取り巻く環境が変化の中で、基礎的・基本的な学力の定着に加え、自ら学び主体的に学習する力を培い一人ひとりの個性を伸ばしていくことや、郷土を愛するふるさと教育など教育課程や教育環境をさらに充実させる必要があります。

また、いじめや不登校、ひきこもりになる児童生徒が近年増加傾向にあり、深刻な社会問題になっています。本市では、スクールカウンセラーや心の教室相談員、子どもと親の相談員を配置するなど、不登校の児童生徒やさまざまな問題について適切な指導を行っています。不登校の原因は、学校・家庭・地域社会におけるさまざまな要因がからみ合っており、それぞれのケースに応じた多様な対応が求められています。これらの悩みを持つ児童生徒や保護者、教師に対して臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーが専門的な立場から指導・助言を行うなど相談体制をさらに充実させるとともに、個別学習や体験学習を通して、集団生活への適応を促し、学校への復帰を支援するための適応指導教室の積極的な活用指導の推進など、生きる力の礎となる他人への思いやりを育む「心の教育」を推進していくための環境をさらに充実させる必要があります。

一方、全国的に相次ぐ児童生徒を対象とした凶悪犯罪が多発しており、子どもを守るための地域と学校との連携や防犯施設の整備など学校の安全管理対策が急務となっています。

学校施設では、昭和37年に建設した豊川小学校をはじめとする老朽化している学校施設の改修や耐震診断の実施など、地域の防災拠点としての活用を踏まえた計画的な学校施設整備が課題となっています。また、合併に伴い、より近い学校へ通学が可能な地域があり、保護者等の意見を踏まえながら既存の通学区の見直しを検討していくことが必要となっています。

本市では、平成17年9月に県教育委員会と双方の教育資源を活用し合い、教育効果を高めるため、連携協力に関する協定を結びました。本市に設置されている県総合教育センターとの連携を中心に、具体的な協力内容を検討していく必要があります。

参考データ

児童・生徒数の推移

単位：人

| | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 天王小学校 | 520 | 539 | 548 | 559 | 532 | 526 |
| 東湖小学校 | 141 | 151 | 155 | 163 | 157 | 145 |
| 出戸小学校 | 327 | 323 | 317 | 328 | 316 | 309 |
| 追分小学校 | 390 | 412 | 414 | 438 | 435 | 423 |
| 大久保小学校 | 411 | 427 | 424 | 393 | 384 | 366 |
| 豊川小学校 | 99 | 101 | 85 | 88 | 79 | 83 |
| 飯田川小学校 | 278 | 258 | 246 | 250 | 252 | 257 |
| 天王中学校 | 368 | 346 | 344 | 317 | 325 | 326 |
| 天王南中学校 | 315 | 329 | 335 | 343 | 353 | 364 |
| 羽城中学校 | 443 | 427 | 423 | 408 | 394 | 394 |

資料：学校基本調査

これからの取り組み

教育内容の充実

県教育委員会との連携協力に関する協定に基づき、連携協力に関する協議会を設置し、県総合教育センターとの連携を中心とした具体的な取り組みを検討します。

学校週5日制や学習指導要領等を踏まえながら、指導方法の改善を図るとともに、特色のある教育課程や教育活動を推進します。

少人数学習を推進し、基礎的・基本的な学力の向上を目指すとともに、学校・地域・家庭が連携し、地域の特徴を取り入れた「ふるさと教育」を推進します。

生きる大切さを体験できる道徳学習の機会の創出など、「心の教育」を推進します。

子どもの多様性や可能性を伸ばすため、複数の教師が共同で指導するチームティーチングなどを活用し、指導方法の工夫・改善を図ります。

インターネットやテレビ会議等を活用した情報教育を推進し、情報化社会に適應できる人材の育成を図ります。

外国語指導助手（ALT）による英語の語学指導や海外ホームステイ事業による英会話体験等により、国際社会で活躍できる人材の育成を図ります。

研修等の充実により、多様化する教育課題に対応できる教職員の指導力の向上を図ります。

教育環境の整備・充実

老朽化が著しく、日常の教育活動にも支障が出始めている豊川小学校の全面改築に取り組みます。老朽化した学校施設について、耐震診断の実施や大規模改造事業等を計画的に進めながら、多様化する教育内容に対応するとともに、安全管理対策や防災拠点を視野に入れた施設整備の充実を図り、児童生徒の学びやすい教育環境の整備に努めます。

コンピュータ機器や教材等の充実により、情報教育の環境づくりを推進します。

相談体制の充実

不登校やいじめ問題に対応するため、「心の教室相談員」「スクールカウンセラー」の配置を継続するとともに、個別学習や体験学習等の適応指導教室を充実させ、学校への復帰を支援するため、児童生徒や保護者が相談しやすい体制づくりを進めます。

特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の社会的な自立を目指し、その能力と可能性が十分に伸びるよう、きめ細やかな教育に努めます。

家庭・地域との連携

家庭・地域・学校が一体となり、それぞれの持つ教育資源や豊かな知識・経験を活用し、子どもと大人がともに学び育ち合うことのできる、開かれた学校づくりを推進します。

学校保健・学校給食の充実

児童生徒の健康状況を把握するため、学校医等による健康診断や健康相談を計画的に実施します。心と体の健康教育の充実を図り、適正な学校の衛生環境の維持保全に努めます。

学校給食については、自校式の給食調理場の衛生的な環境整備に努めるとともに、栄養士を中心に児童生徒の栄養バランスに配慮した献立づくりを推進します。また、給食センター設置や学校給食の民間委託などの調査・研究を進めます。

食材の安全性に配慮するとともに、地場産食材の使用による地産地消を進め、より充実した学校給食を目指します。また、食について考える習慣や知識、食を選択する判断力を楽しく身につけるための「食育」についての学習を推進します。

学校安全体制と防犯施設の整備

子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭や地域のボランティアと連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備します。

登下校時などの安全確保のため、市内小中学校の新入生を対象とした防犯ブザーの配布を継続して実施します。

学校施設における防犯対策については、個々の学校の実情に応じて、防犯カメラなどを計画的に設置します。

通学区域の適正化

小・中学校の通学区域は弾力的に対応し、保護者や児童生徒が学校選択できる機会を設けるとともに、合併に伴うより近い学校へ通学が可能な地域など地理的要件を勘案し潟上市全域を見据え、保護者等の意見を踏まえながら通学区域の見直しを検討します。

教育に対する保護者負担の軽減

教育に対する保護者の負担を軽減するため、奨学金制度の周知を図るとともに、制度が円滑に機能するよう検討を加え、利用しやすい環境を整えます。

目 標

| 区 分 | 単位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|------------|----|------|------|------|
| 外国語指導助手の配置 | 人 | 2 | 3 | 4 |

第3節 さわやかな笑顔を育む文化・スポーツの推進

1 スポーツ・レクリエーションの振興

現状と課題

市民がスポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康と体力の維持・増進を図りながら楽しみを生み出し、仲間同士のふれあいや地域の人々の交流を深めることで、より豊かな生活を過ごすことが重要となっています。

本市には、総合体育館、野球場、テニスコート、プール、グラウンドゴルフ場などさまざまなスポーツ施設があり、多くの市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、各種スポーツセミナーやスポーツ大会を開催しています。スポーツ施設は老朽化が進んでいるものもあり、計画的な整備とあわせて、利用頻度の低い施設の統廃合が必要となっています。一方、スポーツ大会については体育協会等と連携を図りながら、さらに内容の充実を図るとともに、体育協会等が実施している種目と重なるものもあり、開催種目の見直しや体育協会への移管等を検討する必要があります。

また、個人・団体を問わず、すべての市民が気軽にスポーツを楽しめる取り組みや市民が主体的・継続的にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、スポーツ団体や指導者の育成も必要となっています。

平成19年に本県において開催される「秋田わか杉国体」は、本市の天王地区で「相撲競技」、昭和・飯田川地区では「レスリング競技」が行われます。本市では教育委員会に国体事務局を設置し、組織の強化を図るとともに、新たに潟上市実行委員会を設立して、国体の成功に向けて諸準備を進めています。

国体は多くのボランティアで運営されることから、市内のボランティア団体等の活用を図りながら、市民一人ひとりからも積極的な参加が必要です。特に宿泊施設が少ない本市においては、各都道府県の監督・選手の宿泊は大きな問題となっており、各自治会単位での協力が不可欠となっています。今後、全市をあげて取り組み、国体開催に向けて機運を盛り上げていくことが重要となっています。

参考データ

主な体育施設の利用者数

単位：人

| | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天王総合体育館 | 47,355 | 46,698 | 52,125 | 43,243 | 41,934 |
| 昭和体育館 | 28,816 | 20,706 | 37,719 | 24,746 | 22,609 |
| 飯田川体育館 | 18,425 | 19,062 | 18,625 | 16,249 | 13,966 |
| グランパスくらかけ | 31,355 | 34,035 | 36,943 | 43,709 | 38,917 |
| 昭和グラウンドゴルフ場 | | 6,438 | 17,891 | 23,251 | 21,261 |
| 二荒山グラウンドゴルフ場 | | | | | 2,548 |

資料：スポーツ振興課 昭和グラウンドゴルフ場：平成13年10月オープン
二荒山グラウンドゴルフ場：平成16年9月オープン

これからの取り組み

生涯スポーツの振興

誰もが親しめるスポーツ活動を通じて、一人ひとりが健康に過ごせ、地域間交流が活発になるよう、体育協会等と連携し、市民運動会をはじめとする各種大会やセミナーを開催します。また、参加者が減少している種目や体育協会が主催する大会と競合する種目については、その見直しを検討します。

地域におけるスポーツ環境の充実を図るため、全市に総合型地域スポーツクラブの設置を目指すとともに、スポーツ団体の支援や体育指導委員などの指導者の確保・育成を図り、市民が常時スポーツを気軽に楽しめる環境づくりを進めます。

市民のスポーツ熱の向上を図るため、全県規模やハイレベルな大会を積極的に招致します。

スポーツ環境の整備

市民が利用しやすい施設とするため、計画的な整備・改修を行うとともに、老朽化した施設については、利用頻度等の調査を実施し、整理統合を検討します。

国体の開催

広報活動やPR看板の設置、また市主催の各種行事を通じて市民に国体開催の気運を盛り上げていくとともに、ボランティアの確保・育成に努めます。

各都道府県の監督・選手の宿泊については、各自治会において民泊での受入れが可能か、また、各地域にある公共施設の利用も検討しながら、各自治会と連携をとりながら進めます。

国体のリハーサル大会として平成18年に本市において全国教職員相撲選手権大会を招致するなど、競技運営・競技進行・ボランティア活動等の経験を積みながら、国体の成功に向けて取り組みを強化します。

国体開催を単に競技対抗のみで終えることなく、市民も参加しているという意識のもとにコミュニティ形成の向上が図られるよう、市民間の交流、市町村の交流等の継続に努めるとともに、その効果が発揮できるように民泊協力会の立ち上げを進めます。

目 標

| 区 分 | 単位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|-----------------|----|-------|-------|-------|
| 各種スポーツセミナーの受講者数 | 人 | 2,860 | 2,950 | 3,200 |
| 各種スポーツ大会の参加者数 | 人 | 7,230 | 7,450 | 8,000 |



2 芸術文化活動の振興

現状と課題

芸術文化は、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現し、自分自身を充実させていくための活動であり、市民の自主的・創造的な文化活動を支援していくことが必要となっています。

本市では、芸術文化協会を中心に多種多様な活動が展開されていますが、会員の高齢化や固定化の傾向にあり、各分野にわたって指導者の確保など、人材の掘り起こしが課題となっています。

また、学習成果や文化活動の発表機会として各地区で文化祭を開催し芸術文化の交流を図っています。今後は、身近な地域でさまざまな芸術文化に親しめる環境の整備や、市民が主体的に活動・発表できる機会を充実させることが必要であり、アンケート調査でも「今後、整備を希望する施設」として音楽・芸術等が一体的に利用できる「文化会館の新設」が高い数値となっています。

一方、郷土の歴史・文化を理解し親しむことは、地域への愛着を深め、積極的なまちづくりへの参加を促す効果が期待されます。本市では、東湖八坂神社祭統人行事や新関ささら等の無形民俗文化財や八郎ばやし、鷲舞等の郷土芸能など、長年にわたって継承されてきた貴重な伝統・文化があります。また、さまざまな文化財も残されており、今後はこれらの有形・無形の文化財の保護・継承を図っていく必要があります。

市史編さんについては、先人が築いてきた歴史・文化に関する資料収集を行い、市民共有の財産として保存・活用することで郷土に対する理解を高める必要があります。

参考データ

新規整備や改修等の希望 新市建設計画アンケート(15年9月実施)結果から

| 順位 | 項目 | 割合 |
|----|-----------------|-------|
| 1位 | 公民館・図書館・文化会館の整備 | 24.7% |
| 2位 | スポーツ施設の整備 | 22.7% |
| 3位 | レジャー施設の整備 | 10.8% |
| 4位 | 福祉施設の整備 | 8.1% |
| 5位 | 地域の集会所・公園等の整備 | 7.9% |
| 6位 | 道路・上下水道等の整備 | 4.3% |
| 7位 | 教育施設の整備 | 3.1% |

国指定文化財

| 種別(部門) | 指定名称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者又は管理者・団体 |
|------------|-------------|-----|------------|----------------|-----------------------|
| 重要文化財(建造物) | 神明社観音堂 | 1棟 | S 27.11.22 | 潟上市飯田川飯塚字中山16 | 神明社 |
| 有形民俗文化財 | 八郎潟漁撈用具 | 78点 | S 35. 6. 9 | 潟上市昭和久保字元木山根50 | 潟上市教育委員会 |
| 無形民俗文化財 | 東湖八坂神社祭統人行事 | 1隻 | S 61. 1.14 | 潟上市天王、男鹿市船越 | 東湖八坂神社崇敬会 船越町内会連合会 |

秋田県指定文化財

| 種別(部門) | 指定名称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者又は管理者・団体 |
|------------|--------------------|----|------------|-----------------|-------------|
| 有形文化財(工芸品) | 小柄1本 金銀地空目鍛銘正阿弥伝兵衛 | 1本 | S 38.2. 5 | 潟上市昭和久保字街道下70-5 | 武田卓明 |
| 有形文化財(工芸品) | 罎1枚 竹林猛虎の図 銘秋田住重具 | 1枚 | S 38.2. 5 | 潟上市昭和久保字街道下70-5 | 武田卓明 |
| 有形民俗文化財 | 八郎潟出土くり船 | 1隻 | S 55.12.11 | 潟上市昭和久保字元木山根50 | 潟上市教育委員会 |
| 史跡 | 石川理紀之助遺跡 | | S 39.4. 16 | 潟上市昭和豊川山田字家の上62 | (財)石川翁遺跡保存会 |

潟上市指定文化財

| 種別(部門) | 指定名称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者又は管理者・団体 |
|--------------|--------------|--------|-------------|------------------|-------------|
| 有形文化財(絵画) | 地獄絵図 | 12幅 | S 54. 6. 1 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | 飯塚財産区 |
| 有形文化財(絵画) | 釈迦涅槃図 | 1幅 | S 57. 4. 21 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | 飯塚財産区 |
| 有形文化財(絵画) | 佐竹義隆公肖像画 | 1幅 | S 57. 4. 21 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(絵画) | 鏡市太郎翁肖像画 | 1幅 | S 57. 4. 21 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(絵画) | 扁額(俳諧) | 1額 | H 16. 3. 30 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | |
| 有形文化財(絵画) | 扁額(連歌) | 1額 | H 16. 3. 30 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | |
| 有形文化財(絵画) | 松に鷹 | 1枚 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上出戸231 | 上出戸氏子 |
| 有形文化財(絵画) | 想夫恋の図 | 1枚 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上出戸231 | 上出戸氏子 |
| 有形文化財(絵画) | 錦帯橋 | 1枚 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上出戸231 | 上出戸氏子 |
| 有形文化財(絵画) | 川中島合戦の図 | 1枚 | S 58. 2. 18 | 潟上市天王字天王24 | 東湖八坂神社 |
| 有形文化財(建造物) | 北野神社奥殿 | 1棟 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王字上出戸231 | 上出戸氏子 |
| 有形文化財(建造物) | 五輪塔 | 1基 | H 7. 9. 11 | 潟上市天王字天王71 | 自性院 |
| 有形文化財(建造物) | 大漁供養塔 | 1基 | H 7. 9. 11 | 潟上市天王字塩口105 | 塩口自治分館 |
| 有形文化財(建造物) | 萱ぶき両中門造民家 | 1棟 | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保字元木山根50 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(彫刻) | 木像観音像 | 28体 | S 57. 4. 21 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | 飯塚財産区 |
| 有形文化財(歴史資料) | 萬霊供養塔 | 1塔 | S 54. 6. 1 | 潟上市飯田川飯塚字飯塚 | |
| 有形文化財(歴史資料) | 宝篋印塔 | 1塔 | S 54. 6. 1 | 潟上市飯田川飯塚字飯塚 | |
| 有形文化財(歴史資料) | 貞和年号板碑 | 4基 | S 57. 4. 21 | 潟上市飯田川飯塚字中山 | |
| 有形文化財(歴史資料) | 高札 | 1枚 | S 63. 6. 28 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(歴史資料) | 佐竹義隆公自作の人形 | 3体 | S 63. 6. 28 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(歴史資料) | 佐竹義隆公下賜の燈籠 | 2個 | S 63. 6. 28 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(歴史資料) | 焼印 酒屋家符札 | 1枚 | S 63. 6. 28 | 潟上市飯田川下虬川字屋敷 | 下虬川神社 |
| 有形文化財(歴史資料) | 潟船 | 13隻 | H 13. 3. 9 | 潟上市天王字上江川47 | 潟船保存会・史談会 |
| 有形文化財(歴史資料) | 油煙工場の図 | 1幅 | S 63. 9. 19 | 潟上市昭和豊川槻木字真形尻39 | 黒沢マツノ |
| 有形文化財(歴史資料) | 明治9年大久保管内図 | 1幅 | H 2. 7. 30 | 潟上市昭和豊川山田字家の上62 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(考古資料) | 土師器壺型土器 | 2片 | H 7. 9. 11 | 潟上市天王字北野 | 潟上市立出戸小学校 |
| 有形文化財(考古資料) | 板碑(割石板碑) | 1基 | S 62. 7. 17 | 潟上市昭和久保字町後7 | 古川八日講、桜庭富士 |
| 有形文化財(考古資料) | 羽白目遺跡出土「秋田瓦」 | 1括 | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保字元木山根50 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(考古資料) | 経石 | 1括 | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保字元木山根50 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(書跡・典籍) | 黒印定書 | 1冊 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上江川47 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(書跡・典籍) | 検地帳 | 1冊 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上江川47 | 潟上市教育委員会 |
| 有形文化財(書跡・典籍) | 菅原源八翁日誌・隨筆 | 47巻24編 | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保字小川中道66-1 | 菅原日出男 |
| 無形民俗文化財 | ナマハゲ行事 | | H 12.11.28 | 潟上市天王一円 | 天王地区 佐藤雅彦他 |
| 無形民俗文化財 | 新聞ささら | | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保新開地区 | 新聞ささら保存会 |

| 種別(部門) | 指定名称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者又は管理者・団体 |
|--------|--------------|-----|-------------|--------------------|-------------|
| 史跡 | 佐竹藩御休所跡 | | S 63. 6. 28 | 潟上市飯田川下虻川字城の後 | 日蓮宗講中 |
| 史跡 | 鱒塚 | 2基 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王字下浜山156 | 潟上市教育委員会 |
| 史跡 | 鱒塚 | 6基 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王字干潟146 - 7 | 潟上市教育委員会 |
| 史跡 | 三十三番観音碑 | 14基 | S 53. 9. 28 | 市内(県道秋田・男鹿線沿い) | 潟上市教育委員会 |
| 史跡 | 手水鉢 | 1基 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字天王24 | 東湖八坂神社 |
| 史跡 | 狛犬 | 1対 | S 57. 4. 24 | 潟上市天王字上出戸231 | 上出戸氏子 |
| 史跡 | 雨乞いの石蔵 | 1基 | S 58. 2. 18 | 潟上市天王字天王24 | 東湖八坂神社 |
| 史跡 | 板碑 | 1基 | S 58. 2. 18 | 潟上市天王字下出戸117 | 下出戸氏子 |
| 史跡 | 塩口「古井戸跡」 | 1箇所 | H 16. 12. 3 | 潟上市天王字塩口418 | 塩口自治分館 |
| 史跡 | 菅原源八翁筆塚 | 1基 | H 6. 3. 9 | 潟上市昭和久保字北野大崎道添29-3 | 菅原日出男 |
| 史跡 | 船橋経塚 | | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和豊川船橋地内 | 船橋町内会 |
| 史跡 | 明治天皇御休所 | | S 53. 9. 29 | 潟上市昭和久保字大清水地内 | 奈良岩雄 |
| 史跡 | 御野立所 | | S 57. 5. 21 | 潟上市昭和豊川槻木字草生土沢97-7 | 潟上市教育委員会 |
| 史跡 | 豊川油田綱堀式1号井跡 | | S 63. 9. 19 | 潟上市昭和豊川槻木字真形尻56 | 東北工業株式会社 |
| 天然記念物 | 槻の木(佐竹公) | 2本 | S 54. 6. 1 | 潟上市飯田川下虻川字屋敷 | 下虻川神明社 |
| 天然記念物 | 槻の木 | 4本 | H 13. 5. 30 | 潟上市飯田川下虻川字屋敷 | 下虻川神明社 |
| 天然記念物 | 和田妹川神明社のもみの木 | 1本 | H 5. 12. 20 | 潟上市飯田川和田妹川字和田 | 和田妹川神明社 |
| 天然記念物 | 上堤敷のけやき | 1本 | H 5. 12. 20 | 潟上市飯田川飯塚上堤敷 | |
| 天然記念物 | サイカチの群生林 | 群 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王字天王106 | 東湖八坂神社 |
| 天然記念物 | カシワの群生林 | 群 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王字中浜山42 | 上出戸氏子 |
| 天然記念物 | 餅肌の秋田杉 | 3本 | S 53. 9. 28 | 潟上市天王大崎字上沖中谷地15 | 大崎氏子 |
| 天然記念物 | 照明寺の赤松 | 1本 | H 17. 3. 8 | 潟上市昭和豊川槻木字大宮34 | 照明寺 |
| 天然記念物 | 真形の黒松 | 1本 | H 17. 3. 8 | 潟上市昭和豊川槻木字真形尻71 | 黒沢耕造 |
| 天然記念物 | 月山神社のけやき | 2本 | H 17. 3. 8 | 潟上市昭和久保字山神37 | 月山神社 |

資料：生涯学習課



これからの取り組み

芸術文化活動の支援

市民の芸術文化の発表・交流の場である文化祭については、多くの市民の参加を促し、さらに充実させるとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を側面から支援します。

芸術文化施設の整備・充実

市民の芸術文化活動の活性化や生涯学習の拡充、学習成果の発表の場、若者が集える場など市民の多様なニーズに対応するため、複合機能をもった文化会館的施設の整備を検討します。

文化財の保護と活用

文化財の発掘や調査研究を推進するとともに、維持管理と保護対策を強化し、文化財の保存・伝承・周知に努めます。

種苗交換会の創始者である「聖農 石川理紀之助翁」の資料を展示・保存している「郷土文化保存伝習館」を本市の代表的な文化財施設として位置づけ、施設や展示物等の計画的な整備に努めるとともに、各地区にある郷土資料館等の資料を整理・保存するとともに、展示資料の充実を図ります。

本市の市名でもある「潟」の歴史・文化を後世に引き継ぐため、各種文化財の保存に努めるとともに、施設の一元化を進めます。

市史編さんの充実

本市の歴史・伝統・文化等の貴重な資料の発掘と収集に努めるとともに、解析を進めながら本市の歴史の変遷を明らかにするため、市史の編さんに取り組み、その保存・活用を推進します。

目 標

| 区 分 | 単位 | 17年度 | 20年度 | 27年度 |
|------------|----|-------|-------|-------|
| 芸術文化団体の会員数 | 人 | 1,120 | 1,200 | 1,500 |